

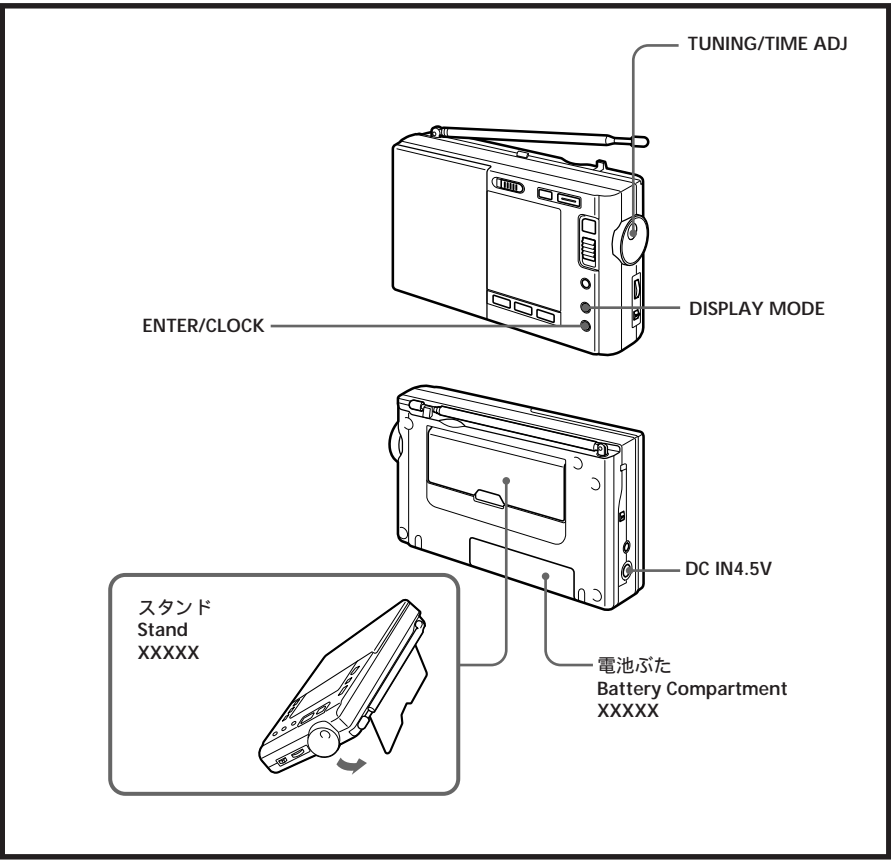
# FM Stereo/SW/MW/LW PLL Synthesized Receiver

取扱説明書

Operating Instructions
XXXXX

## ICF-SW40

Sony Corporation © 1997 Printed in Japan



この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みください。製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

### 日本語

お買い上げいただきありがとうございます。

**警告**
電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みください。製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

### 主な特長

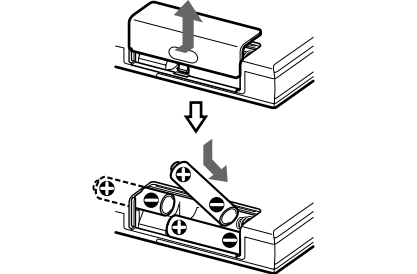
- FM・短波・中波・長波放送と、世界の電波を広範囲にアナログ選局の感覚で受信できるデジタル選局レシーバーです。
- 合計20局のプリセット機能付き。(2つのスタンバイメモリー)
- PLL(Phase Locked Loop)のシンセサイザー方式を採用。
- 2種類の独立した時刻設定ができるスタンバイ機能付き。
- 自動的に電源が切れるスリープ機能付き(60、30、15分の選択ができます)。
- 時計機能付き。
- ステレオイヤーマシーバー(別売)でFMステレオが楽しめます。

#### ▶準備

### 電源について

### 乾電池で使うには

ラジオ底面の電池ふたをあげ、付属の単3形乾電池3本を①、②正しく入れます。



初めて電池を入れたときは、表示窓に「0：00」が点滅します。時計を合わせると点滅は止まります。「時計を合わせる(参照)」

乾電池の交換時期は乾電池が消耗してくると、「□」表示の「▲」が点滅し、音が小さくなったり、ひずんだりします。乾電池が完全に消耗すると、「□」表示が点滅し、ラジオの電源が切れます。その場合は乾電池を3本とも新しいものと交換してください。

- ご注意
- 乾電池の交換は1分以内に行なってください。1分以上経過すると、プリセットした局や時刻は消えてしまいます。その場合はもう一度設定をし直してください。
  - 乾電池を交換すると「□」表示は消えます。
- 乾電池の持続時間(EIAJ)
(単位：時間)
- |          |                            |         |
|----------|----------------------------|---------|
| 使用乾電池    | ソニー単3形 ソニー単3形(LR6)(R6) 乾電池 | アルカリ乾電池 |
| FM受信時    | 約15時間                      | 約36時間   |
| LW/MW受信時 | 約11.5時間                    | 約29.5時間 |
| SW受信時    | 約11.5時間                    | 約29.5時間 |
- ご注意
- 海外の主な都市名と時差については本機裏面の地図をご覧ください。

- ENTER/CLOCK(入力/現在時刻)を「ピッ」と音がするまで押す。
- TUNING/TIME ADJ(選局/時刻合わせ)つまみを回して「時」を合わせる。
- ENTER/CLOCKを「ピッ」と音がするまで押す。
- TUNING/TIME ADJつまみを回して「分」を合わせる。

コンセントや車では使うには本機のDC IN 4.5V端子に外部電源機器をつなぐと、乾電池が入っていても、自動的に外部電源に切り換わります。

コンセント(家庭用電源)で使うには別売りのACパワーアダプターAC-E45M(国内)またはAC-E45HG(海外)をDC IN 4.5V端子につなぎます。

### 日本語

- ENTER/CLOCKを「ピビッ」と音がするまで押す。「：」が点滅、時計が動き出します。



秒まで正確に合わせるには電話の時報サービス(117)をご利用になると便利です。時刻を合わせておき、時報と同時にENTER/CLOCKを押します。

時計合わせを途中で止めたいときはDISPLAY MODEを押します。元の状態に戻ります。

ご注意

- 操作の途中で何の操作もしないまま、約1分過ぎると、元の状態に戻ります。その場合は、手順1から操作をし直してください。

ラジオを聞いているときに時刻を見るにはDISPLAY MODEを押します。もう一度ボタンを押すか、約1分たつと周波数表示に戻ります。

### ▶その他

### 故障とお考えになる前に

本機の調子が悪いとすぐ故障と考えがちですが、修理に出す前にもう一度取扱説明書をお読みになり、次のような点検をしてください。

音がまったく聞こえない

- VOLつまみが最小になっている。
- ヘッドホンが差し込まれている。
- 乾電池の入れかたが間違っている。

- POWER ボタンを押しても電源が入らない
  - 乾電池の入れかたが間違っている。
  - 乾電池が消耗している(「□」が点滅している)。
  - AC(パワーアダプター)またはカーバッテリーコードがはずれている。

- 雑音が入る、音が悪い
  - 乾電池が消耗している(「□」が点滅している)。
  - 選局やアンテナの調節が充分でない。
  - 電波が弱い、建物や乗り物の中には、なるべく窓際へ置く。
  - SENS スイッチがLOCAL側になっている。DX側に切り換える。

放送局のプリセットができない

- プリセットのしかたが間違っている。ENTER/CLOCKボタンを1秒以上押してから、希望のプリセット番号を選ぶ。

- プリセットした放送局が受信できない
  - VOLが最小になっている。
  - 「プリセット」ボタンが壊れている。
  - PRESET/MANUALボタンを押す。
  - プリセットした放送局の番号が間違っている。
  - 電池交換に1分以上かかった。プリセットした内容が消えている。もう一度プリセットし直す。

- 予約した時刻にラジオが鳴らない
  - VOLが最小になっている。
  - STANDBY MODEボタンを押し忘れていた。
  - ホルル機能が働いている。
  - 電池交換に1分以上かかった。予約が消えている。予約をやります。

ボタン操作を受け付けない

- ホルル機能が働いている(「○」が点灯している)。
- HOLDスイッチを矢印と反対の方向にずらし、「○」表示を消す。

表示窓の文字が薄く見にくい

- 極端に暑いところ、寒いところ、湿度の多いところで使っている。

- 表示窓に表示が出ない
  - 乾電池の入れかたが間違っている。
  - 乾電池が消耗している。

### 使用上のご注意とお手入れ

- 置き場所について
次のような場所には置かなくてください。故障の原因となることがあります。
  - 汚れたときは、柔らかい布でふき拭いてください。シャンプーやペーパーなどは表面をいためずるので使わないでください。
  - 直射日光や紫外線が長時間当たる場所(夏の海岸など)。
  - 極端に温度が高いところ(周囲温度40 以上)や寒いところ(0 以下)。
  - 暑いところは、表示が88.88…と見えることがあります。寒いところは表示文字の変わりかたがゆっくりになることがあります(常温に戻せば、元に戻ります)。
  - 湿度の高いところ(風呂場など)。
  - 強い振動や衝撃のあるところ。

- 本体について
  - 本体の内部に液体や異物を入れないようにご注意ください。特にDC IN 4.5V端子に水や異物が入ると故障の原因となることがあります。汚れたときは、柔らかい布でふき拭いてください。シャンプーやペーパーなどは表面をいためずるので使わないでください。
  - キャッシュカード、定期券など磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカー内部の磁石の影響でカードの磁気を変化し、使えなくなる場合がありますのでご注意ください。

異常や不具合が起きたら
万一、異常や不具合が起きたとき、異物が中に入ったときは、すぐに電源を切り、(AC)パワーアダプターは必ずコンセントから抜いて内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

サービス依頼について
修理のために本体をお預けになると、修理内容により、プリセット局のメモリーが消えてしまう場合があります。重要なデータは控えを取っておくことをお勧めします。

特定の相手方に対して行われる無線通信を傍受して、その存在または内容を探らしたり窃用したりすることは、電波法で禁止されています。

### 主な仕様

回路方式 FM：スーパーヘテロダイン方式
LW/MW、SW：デュアルコンバージョンスーパーヘテロダイン方式

受信周波数 FM：76～108MHz
SW：3.850～26.100kHz
MW：530～1.620kHz
LW：150～285kHz

スピーカー 直径 約66mm、8 1個
実用最大出力 240mW (EIAJ)/DC)
電源 DC4.5V 単3形乾電池 3本
出力端子 ① 端子(ステレオミニジャック) 16 1個

外部電源端子 最大外形寸法 約170×106×35mm (幅(高さ)奥行(き)(EIAJ))
410g(乾電池含む)

質量 ソニー単3形乾電池(3)
付属品 キャリングケース(1)
コンパクトアンテナ(1)
ウェーブハンドブック(1)
ハウトゥーキャッチザウェイブ(1)\*2
取扱説明書(1)
保証書(1)
ソニーご相談窓口のご案内(1)\*2

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

別売りアクセサリ
ACパワーアダプター AC-E45M(国内)
AC-E45HG(海外)\*3
カーバッテリーコード DCC-E245
LW/MW/SWワイドレンジアンテナ AN-1、AN-102

- \*1 EIAJ(日本電子機械工業会)規格による測定値です。
- \*2 日本国内向け製品にのみ付属します。
- \*3 地域により電源電圧が異なりますので、AC(パワーアダプター)はお使いになる国に合ったものを買い求めください。

### 保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス
調子が悪いときはまずチェックをこの説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービスへお買い上げ店、または添付のソニーご相談窓口のご案内にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではラジオの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低5年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

ソニーワールドモデルお買い上げのお客様へ
日本でも海外でも使用できるように作られたモデルです。

海外での保証とアフターサービスについて

- 保証期間は、買上げ日より、日本国内では1年間、海外では90日間です。
- 海外での修理やアフターサービスについてご不明な点は、保証書に記載の海外ソニーサービス特約店にお問い合わせください。

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35
お問い合わせはお客さまご相談センターへ
お問い合わせセンターへ
お問い合わせセンターへ
お問い合わせセンターへ
お問い合わせセンターへ
お問い合わせセンターへ
お問い合わせセンターへ
お問い合わせセンターへ
お問い合わせセンターへ

### English

### WARNING

To prevent fire or shock hazard, do not expose the unit to rain or moisture.
To avoid electrical shock, do not open the cabinet.
Refer servicing to qualified personnel only.

## Before You Begin

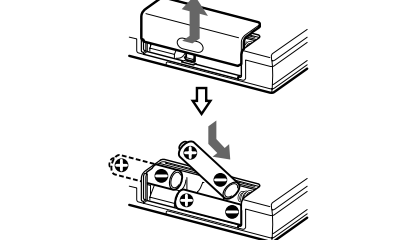
Thank you for choosing the Sony world band receiver! The world band receiver will give you many hours of reliable service and listening pleasure. Please read these instructions thoroughly before operating the world band receiver, and retain them for future reference.

## Features

- FM stereo/SW/MW/LW portable receiver with worldwide band coverage
- Quartz-controlled PLL (Phase Locked Loop) synthesizer system using a microcomputer for easy pinpoint tuning
- Presenting of up to 20 stations for quick tuning
- Dual timer standby function to receive your favorite broadcast at the desired time
- Sleep timer to turn the radio off automatically after a specified number of minutes
- FM stereo reception through stereo headphones (not supplied)

## Installing the Batteries

To keep accurate time and to store the preset stations, your receiver requires the supplied three R6 (size AA) batteries. Before setting the clock and preset stations on your receiver, open the lid on the bottom of the unit, install the batteries with the correct polarity, and then close the lid.



“0:00” flashes after the batteries are installed. The flashing stops when the clock is set (Refer to “Setting the Clock”).

**Knowing when to replace the batteries**
The sound becomes weak or distorted and the “▲” of “□” will flash when the batteries require replacement. When the batteries are completely exhausted, the power is cut and “□” will flash in the display. Replace with three R6 (size AA) batteries.

- Replace the batteries within 1 minute after the batteries are removed from the unit. Otherwise, the clock setting and preset stations could be erased. In this case, set the clock and preset the stations again.
- “□” disappears from the display after the batteries are replaced.

Battery Life (Approximate hours)		
	Sony R6 (size AA)	Sony LR6 alkaline (size AA)
FM reception	15	36
LW/MW reception	11.5	29.5
SW reception	11.5	29.5

## Using Other Power Sources

The internal batteries are automatically disconnected when the AC power adaptor or the car battery cord is connected to the DC IN 4.5 V jack.

- House current**
Connect the Sony AC-E45HG AC power adaptor (not supplied) to the DC IN 4.5 V jack, and plug it into a wall outlet.
  - Do not bend or twist the power cord unnecessarily, and do not place heavy objects on the power cord.
  - When disconnecting the AC power adaptor from a wall outlet, pull it out by the plug. Do not pull the power cord.
  - Disconnect the AC power adaptor from the wall outlet when the unit is not to be used for a long period of time. Be sure to pull it out by the plug.

#### Car battery

For use on a 12/24 V car battery, connect the Sony car battery cord (not supplied) to the DC IN 4.5 V jack.

- Notes on external power sources**
  - When operating the unit with an external power source, do not remove the batteries which serve as a backup for the memory. Since the battery power is drawn down in this case as well, it is recommended that the batteries be changed about once a year.
  - When operating the unit with the internal batteries, remove the AC power adaptor or car battery cord in the following order: ② disconnect it from the wall outlet or car battery, then ① disconnect it from the DC IN 4.5 V jack. Make sure that the plug of the external power source is disconnected before operating the unit.
  - When connecting and disconnecting the external power source plug, be sure to turn off the radio. Otherwise, “□” may be displayed. When this occurs, turn on the power of the radio so that “□” disappears.
  - Use the recommended Sony AC power adaptor or car battery cord only. The polarity of the plug of other manufacturers may be different. Failure to use the recommended AC power adaptor or car battery cord may lead to malfunction of the unit.

**Polarity of the plug**



## Setting the Clock

Set the time after you first install the batteries at which time “0:00” flashes.

- The clock is displayed in 24-hour indication. (Midnight: 0:00; noon: 12:00)
- See the map on the back of the radio for the names of representative cities throughout the world and the time differences separating them.

- Press and hold ENTER/CLOCK for more than one second until you hear a beep and the hour starts flashing.



- Turn the TUNING/TIME ADJ control until the correct hour is displayed.



- Press ENTER/CLOCK again to set the minute. A beep sounds and the minute starts flashing.



- Turn the TUNING/TIME ADJ control until the correct minute is displayed.



- Press ENTER/CLOCK. A double-beep sounds and the minute stops flashing. The colon “:” starts flashing and the clock operates.



- When listening to the radio, press DISPLAY MODE to display the clock and set the time.
- To set the clock accurately, press ENTER/CLOCK as instructed in step 5 at the time of the tone.
- If about 60 seconds elapse with no operation, the clock setting will be aborted and the unit will return to the previous mode. In this case, repeat the procedure from step 1 to complete the clock setting.

**To cancel the clock setting**
Press DISPLAY MODE. The unit will return to the previous mode.

**To display the clock**
Press DISPLAY MODE while the radio is operating. The clock is displayed for about 1 minute. Pressing the button again returns the display to the frequency indication.

## Troubleshooting

Should any problem persist after you have made the following checks, consult your nearest Sony dealer.

**There is no sound output.**

- VOL (volume) is turned down completely.
- The stereo headphones are plugged in.
- The polarity of the batteries is incorrect.

**Radio disconnects, even if you press POWER, or sound fades right away.**

- The polarity of the batteries is incorrect.
- The batteries have run down (“□” flashes).
- The AC power adaptor or car battery cord is disconnected.

**Reception is poor or sound quality unsatisfactory.**

- Weak batteries (“□” flashes).
- Tuning and antenna orientation requires further adjustment.
- The radio signal is weak. → Listen to the radio near a window when in a vehicle or building.
- SENS is set to LOCAL. → Set to DX.

**Stations cannot be stored.**

- Press ENTER/CLOCK for more than one second and select the desired preset number.

**The preset station cannot be received during preset tuning.**

- VOL (volume) is turned down completely.
- Press PRESET/MANUAL to enter the preset mode.
- The number selected for the preset station is incorrect. → Select the correct number assigned to the desired preset station.
- The preset stations have been erased because the batteries were not replaced within 1 minute after their removal from the unit.

**The radio is not turned on when the preset standby time arrives.**

- VOL (volume) is turned down completely.
- STANDBY MODE has not been selected.
- The hold function is operating.
- The preset stations have been erased because the batteries were not replaced within 1 minute after their removal from the unit.

**The buttons and controls are not operating.**

- The HOLD function is operating. → Slide HOLD to the left until “○” disappears from the display.

**The display is dim.**

- The unit is being used in extremely high or low temperatures, or in a place subject to excessive moisture.

**The display shows no indication.**

- The polarity of the batteries is incorrect.
- The batteries have run down.

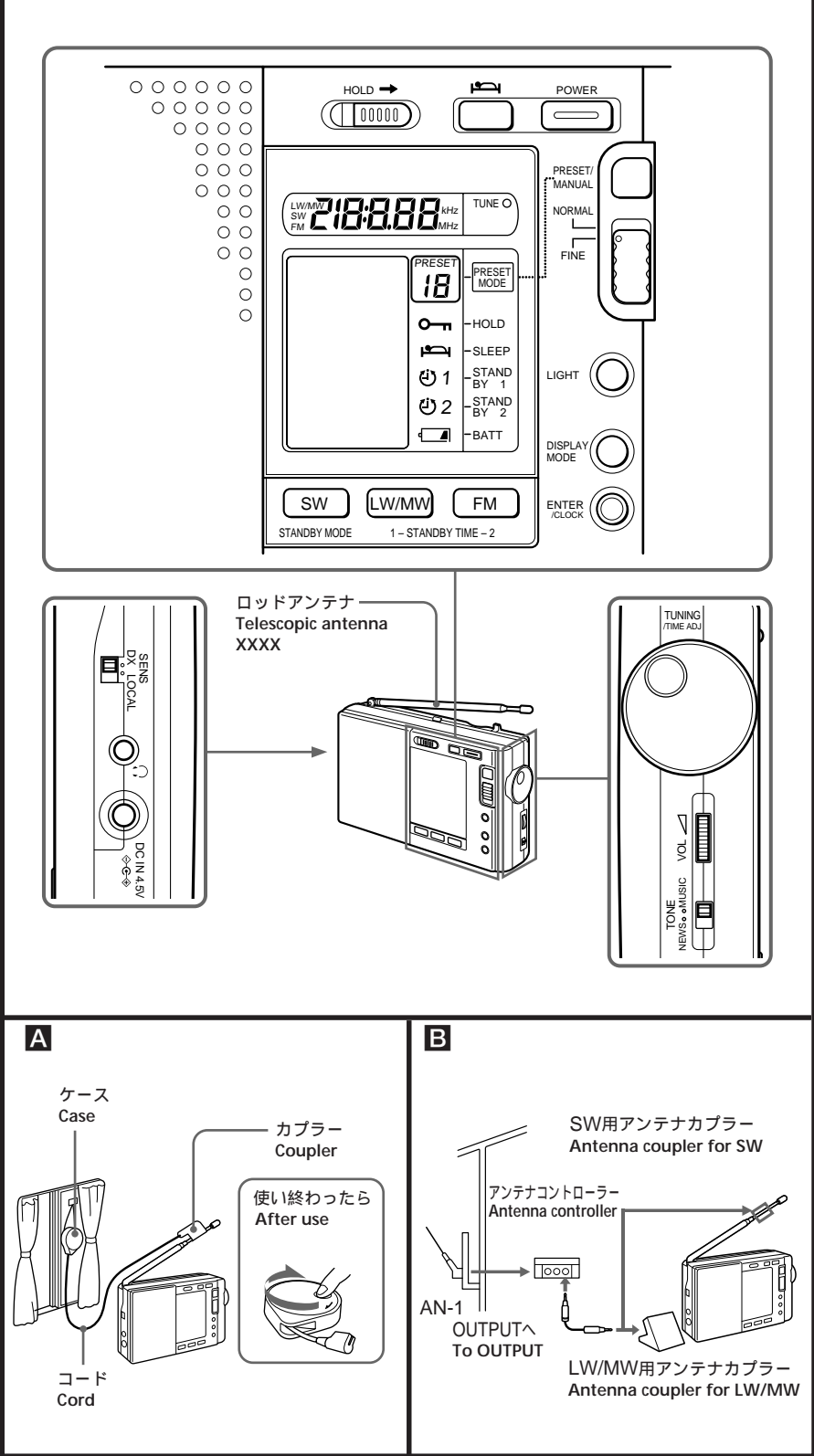
## Precautions

- Operate the unit only on the power sources specified in “Specifications”.
- The nameplate indicating the operating voltage, etc., is located on the rear of the unit.
- Use the unit within a temperature range of 0°C to 40°C (32°F to 104°F). If it is used in temperatures outside this range, an irregular display may appear. If it is used in temperatures lower than this range, the display may change very slowly. These irregularities will disappear and there will be no damage to the unit when the unit is used in its recommended temperature range.
- Do not leave the unit in a location near heat sources, or in a place subject to direct sunlight, excessive dust or mechanical shock.
- Should any solid object or liquid fall into the unit, unplug the unit, and have it checked by qualified personnel before operating it any further. Make sure that no liquid or foreign material enters the DC IN 4.5 V jack of the unit. This may lead to the malfunction of the unit.
- Since a strong magnet is used for the speaker, keep personal credit cards using magnetic coding or spring-wound watches away from the unit to prevent them from possible damage caused by the magnet.
- When the casing becomes soiled, clean it with a soft dry cloth dampened with mild detergent solution. Never use abrasive cleansers or chemical solvents, as they may mar the casing.
- In vehicles or buildings, radio reception may be difficult or noisy. Try listening near a window.

**Battery warning**
When the unit is to be left unplugged for a long time, remove the batteries to avoid undue battery discharge and damage to the unit from battery leakage.

**Service and repair**
When bringing your unit for service and repair, take note of your important settings in the memory. The settings may be deleted, depending on the type of repair necessary.

If you have any questions or problems concerning your unit, please consult the nearest Sony dealer.



## 日本語

## ラジオを聞く

海外でラジオを聞くときは、必要に応じて周波数ステップを切り換えてください。
(「海外でラジオを聞くには MW周波数ステップの切り換え」をご覧ください。)

### マニュアル選局

- POWER(電源)**を押す。
- SW、LW/MW**または**FM**を押して、聞きたいバンドを選ぶ。SWの場合は、SWを押すたびに、1つ上のメーターバンドに移ります。
- TUNING/TIME ADJ**つまみを回して聞きたい放送局を受信する。周波数に対応したダイヤル指針の位置が変わりますので曲調の目安にしてください。放送を受信するとTUNEランプが赤く点灯します。
- VOL(音量)**つまみを回して音量を調節する。

選局間隔について
NORMAL/FINE: 選局間隔切換スイッチを切り換えて、TUNING/TIME ADJつまみの選局間隔を切り換えることができます。通常はNORMALの位置で使います。FINEになると、より細かい選局ができます。
NORMAL：LWでは9kHz、MWでは9kHz（または10kHz）、SWでは5kHz、FMでは0.1MHzごとに変わります。速く回すと、より大きな間隔で変わります。
FINE：LW/MW、SWでは1kHz、FMでは0.05MHzごとに変わります。速く回すと、より大きな間隔で変わります。
\*MWの周波数ステップを切り換えるときは、「海外でラジオを聞くには」をご覧ください。

ラジオの電源を切るには
**POWER**を押します。

FMステレオ放送を楽しむには
ステレオヘッドホス(別売り)差し端子につないでください。

ニュース番組などを聞くときは
**TONE**(音質)スイッチをNEWSに合わせると人の声などが聞きやすくなります。音楽番組を聞くときはMUSICに合わせます。

溜信して聞きづらいつきは
**SENS**(感度)スイッチをLOCALに合わせます。通常はDXにしておきます。

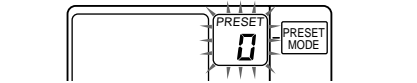
ご注意
本機は内部プリアス(ラジオ内部の発振器の信号を受信すること)により、10.250kHz、20.500kHz付近では受信しにくい場合があります。

### プリセット選局

希望の放送局を20局まで記憶させることができます(プリセット)。一度プリセットしておけば、あとは、プリセット番号を選ぶだけで正確な受信ができます。
・本機は工場出荷時に、あらかじめ20局がプリセットされています。

プリセットするには
希望の放送局を受信する。「マニュアル選局」をご覧ください。

- 希望の放送局を受信する。「マニュアル選局」をご覧ください。
- ENTER/CLOCK**を「ピッ」と音がするまで押す。プリセット番号が点滅します。



#### 日本語

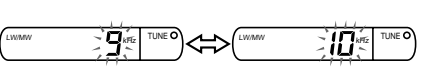
### 海外でラジオを聞くには—MW周波数ステップの切り換え

本機は、MW放送の受信間隔(周波数ステップ)が工場出荷時9kHzに設定されています。しかし、北米や南米では、放送局の周波数が10kHz間隔に設定されているため、そのような地域でMW放送を聞くときは、周波数ステップを切り換えてください。

地域	周波数ステップ
北米、南米の国々	10kHz
他の国々	9kHz

周波数ステップを切り換えるには

- POWER**を押す。
- LW/MW**を押し、LW/MW放送を受信する。
- LW/MW**を3秒以上、「ピビッ」と鳴るまで押す。「10kHzまたは9kHz」を表示したあと、元の周波数表示に戻ります。これで周波数ステップの切り換えは完了です。



### 受信状態を良くするには

アンテナを調節する
FM放送を聞くとき：ロッドアンテナを伸ばして向きや角度を変える。
MWやLW放送を聞くとき：内蔵のバーアンテナが働くので、ロッドアンテナをたたみ、本体の向きを変える。
SW放送を聞くとき：ロッドアンテナを垂直いっばいに伸ばす。

付属のSW用コンパクトアンテナを使う(A)
SW放送を鉄筋のビルの中など、受信状態の良い場所で聞くときは、付属のSW用コンパクトをお使いください。

- コードをケースから完全に引き出す。
- カブラをロッドアンテナにはめる。
- 部屋窓の窓が開く場合：危険が無いことを確かめてから、コードをケースごと窓の外に出し下に落ちないようにしっかり固定します。窓が開かない場合：コードを窓の幅いっばいに張ります。

別売りのSW(短波)、MW(中波)、LW(長波)用の外部アンテナを使う(B)
別売りのワイドレンジアンテナAN-1またはAN-102をお使いください。

- 接続コードを使って、アンテナコンローラーのOUTPUT端子とアンテナカブラーのINPUT端子をつなぐ(両方ともAN-1やAN-102に付属)。
- SWの場合：アンテナカブラーをロッドアンテナにとりつける。LW/MWの場合：アンテナカブラーを本機の近くでもっとも良く受信できるところに置く。本機のロッドアンテナは、たたんでおいてください。

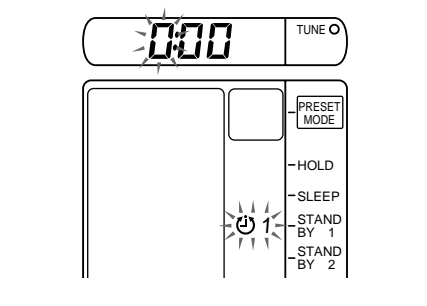
ご注意
・室内の蛍光灯やテレビ、電話、パソコンなどが雑音の原因となることがありますので、本機やアンテナからなるべく離してお使いください。
・外部アンテナをお使いになるときは、本機のロッドアンテナはたたんでおいてください。
・外部アンテナはなるべく道路から離れたところに設置してください。
・外部アンテナについて詳しくは、それぞれに付属の取扱説明書をご覧ください。

## ラジオで目覚める

### スタンバイ機能

- ラジオ番組を目覚まし代わりにすることが出来ます。
- 本機の時計を合わせてから操作してください。
- 2つのスタンバイを予約することができます。スタンバイ1で鳴らしたい放送局は、プリセット番号1、スタンバイ2で鳴らしたい放送局はプリセット番号2にプリセットしてください(プリセットをするには「ご覧ください」)
- ラジオが鳴り始めたときの音量をあらかじめVOLつまみで調節しておきます。

- ラジオを聞いているときは、**DISPLAY MODE**を押して時計表示にする。
- スタンバイ1に予約するとき、**LW/MW\*STANDBY TIME 1(スタンバイ時刻1)**「ピッ」と音がするまで押す。
- PRESET/MANUAL**を押し、「プリセット選局」状態にする。プリセット番号を表示させます。
- TUNING/TIME ADJ**つまみを回して、消去したい放送局のプリセット番号を表示させる。
- ENTER/CLOCK**を押し続け、「dEL」が点滅表示されたら指を離す。



- TUNING/TIME ADJ**つまみを回して「時」を合わせる。
- LW/MW\*STANDBY TIME 1**を「ピッ」と音がするまで押す。「時」が設定された分が点滅します。
- TUNING/TIME ADJ**つまみを回して「分」を合わせる。
- LW/MW\*STANDBY TIME 1**を「ピビッ」と音がするまで押す。「分」が設定された分が点灯、時計表示に戻ります。スタンバイ1の設定が完了しました。

予約した時刻になると放送を受信し、約60秒後に自動的に電源が切れます。途中で切りたいたきはPOWERを押します。

スタンバイ2を使うときは
手順2～6でLW/MW\*STANDBY TIME 1のかわりにFM\*STANDBY TIME 2を押します。

スタンバイ1、2の両方に予約したときは一方の予約でラジオが鳴っているときに、もう一方の予約が働いた場合、後の予約に設定した放送局の受信に切り換わります。スタンバイ1と2に同時刻を予約したときは、スタンバイ1が働きます。

予約の設定/解除と確認
時計表示にして、STANDBY MODE(スタンバイモード)矢くり返し押し、使いたい予約のマークを表示させます。

予約解除(消灯)	予約1を消す(⊙1)	予約2を消す(⊙2)	予約1,2の両方を消す(⊙1⊙2)
----------	------------	------------	-------------------

「⊙1」または「⊙2」表示が点滅中は、それぞれに予約した時刻が表示されます。

予約した時刻を変更するには
あらかじめ手順1から6の操作をします。

予約を一時的に解除するには
ラジオの電源が入っていないときに、HOLD(ホールド)スイッチを右にずらし「◐」を表示させます。「◐」表示を消すと予約は復元します。

ご注意
・予約時刻を設定するときは、必ず時計表示にしてください。ラジオ受信中は、時計表示にしてから60秒以内に手触りの操作をしてください。一度設定した予約はSTANDBY MODEを押して解除しない限り、毎日働きます。

### アラーム機能

予約した時刻に、ラジオの代わりにアラーム音を鳴らすことができます。

- プリセット1または2にプリセットされているMUSICを右にずらし「◐」を表示させます。「プリセットを消去するには」をご覧ください。
- 「スタンバイ機能」手順1から6の操作をする。予約した時刻になると、アラーム音が鳴り、約60秒後に自動的に切れます。

途中でアラーム音を止めるには
本機のどのボタンを押してもアラーム音は止まりません。

ご注意
アラームの音量を調節することはできません。

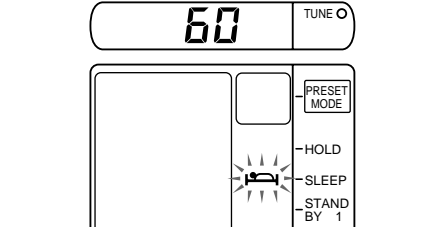


### ラジオを聞きながら眠る

#### スリープタイマー

設定した時間(15、30、または60分)が過ぎると自動的に電源が切れます。

- 「**スリープ**」を押す。スリープタイマーの動作時間 60 が表示され、「**が**」が点滅します。



- 「**が**」が点滅している間に「**を**」を繰り返し押して希望の時間を表示させる。押すごとに次のように切り換わります。60(分) 30 15
約3秒後、動作時間表示が周波数表示に変わりスリープタイマーがスタートし、設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます。

設定後に動作時間を変えるには
「**を**」を繰り返し押して、希望の時刻を選びます。

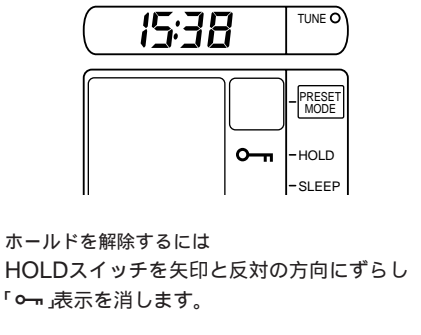
途中で電源を切るには
**POWER**を押します。

### 便利な機能

#### 誤操作を防ぐ—ホールド機能

ホールド機能を使うときは、ボタン操作を受け付けなくなり、持ち違ふときなどに、誤って電源が入ったり、ラジオを聞いているときの誤操作を防ぐことができます。またラジオの電源が切れているときにホールド機能を働かせると、スタンバイ機能が一時的に解除されます。

ホールド機能を使うときは
HOLDスイッチを矢印の方向にずらします。「◐」が表示され、それ以降、ボタンやTUNING/TIME ADJつまみの操作を受け付けなくなります。



ホールドを解除するには
HOLDスイッチを矢印と反対の方向にずらし「◐」表示を消します。

ご注意
ライト点灯中にホールド機能を働かせるとライトは消えます。

#### 表示窓の照明をつける

LIGHTを押します。表示窓が約15時間照らされます。もう一度LIGHTを押しても照明は消えます。

照明中に本機のをすると照明される時間が長くなります。

#### English

## Operating the Radio

Before operating the radio, make sure of your location. If in North or South America, the MW Channel Step must be changed.
• Refer to “Changing the MW Channel Step” when changing the MW tuning frequency step.

### Manual tuning

- Press **POWER** to turn on the radio.
- Press either **SW、LW/MW**, or **FM** to select the desired band. Each time **SW** is pressed, the indicator moves up one meter band. When a broadcast is received, the red **TUNE** lamp is illuminated.
- Turn the **TUNING/TIME ADJ** control to tune in the desired station. The indicator moves in accordance with the frequency number, enabling you to use it to select the station. When a broadcast is received, the red **TUNE** lamp is illuminated.
- Turn the **VOL** control to adjust the volume.

To turn off the radio, press **POWER**.

**About tuning step**
The frequency step employed by the TUNING/TIME ADJ control to tune in stations can be changed with the **NORMAL/FINE** selector. The selector should usually be set to **NORMAL**. Switching to **FINE** permits finer tuning.

**NORMAL:** The tuning step is 9 kHz for LW, 9 kHz (or 10 kHz) for MW and 5 kHz for SW. The step for FM is 0.1 MHz. The steps widen when the control is turned quickly.
**FINE:** The tuning step for LW/MW and SW is 1 kHz, and that for FM is 0.05 MHz. The steps widen when the control is turned quickly.

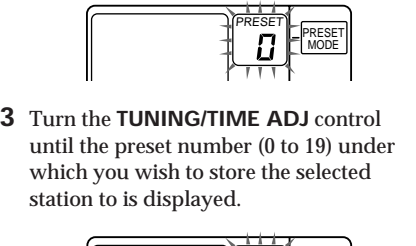
- To enjoy FM stereo reception, plug the stereo headphones to the **(S)** (headphones) jack.
- When listening to news, set the **TO**NE selector to **NEWS** for optimum results. Vocal output will be sharper and clearer. When listening to music, set it to **MUSIC** for optimum results.
- When interference is prevalent during reception, set the **SENS DX-LOCAL** selector to **LOCAL**. Under normal conditions, set it to **DX**.
- Reception of around 10250 kHz and 20500 kHz may be difficult because of extraneous internal signals generated by the built-in oscillators.

### Preset tuning

This unit is factory-preset with 20 stations. You can preset up to 20 stations by assigning your favorite stations to the preset numbers 0 to 19.

**Presetting stations**
**1** Manually tune in the station you wish to preset. Refer to “Manual tuning” for more details.

- Press and hold **ENTER/CLOCK** until you hear a beep and the preset number starts flashing.



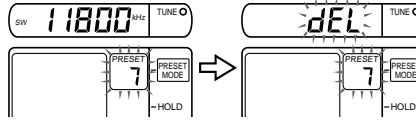
- Turn the **TUNING/TIME ADJ** control until the preset number (0 to 19) under which you wish to store the selected station to is displayed.

- Press **ENTER/CLOCK**. A double-beep sounds and the preset number stops flashing.

**To change the preset station**
Follow the same procedure to store a new station to the selected preset number. The previous preset station is overwritten by the new preset station.
• When either SW, LW/MW, or FM is pressed in the preset tuning mode, the unit enters the manual tuning mode.
• To interrupt and cancel presetting, press **PRESET/MANUAL**. The unit will return to the manual tuning mode.
• When about 60 seconds elapse with no operation while the preset number is flashing, the unit will return to the previous indication.

- Press **POWER** to turn on the radio.
- Press **PRESET/MANUAL** if the unit is in the manual tuning mode to enter the preset tuning mode, as necessary.
- Turn the **TUNING/TIME ADJ** control to display the preset number to which the desired station is assigned.
- Turn the **VOL** control to adjust the volume.

- Press **POWER** to turn on the radio.
- Press **PRESET/MANUAL** if the unit is in the manual tuning mode to enter the preset tuning mode, as necessary.
- Turn the **TUNING/TIME ADJ** control to display the preset number to which the station you wish to delete is assigned.
- Depress **ENTER/CLOCK** for more than three seconds. After **ENTER/CLOCK** is depressed for about one second, a beep sounds and the preset number starts flashing. Release **ENTER/CLOCK** when you hear another beep and the frequency display changes to a flashing “dEL”.



- Press **ENTER/CLOCK** until a long beep sounds.

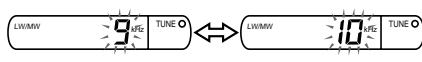
- If about 60 seconds elapse with no operation while the preset number and “dEL” are flashing, the unit will return to the previous mode.
- A preset number that has been deleted can be assigned a new station for preset tuning. Refer to “Presetting stations” for more details.
- If all preset numbers 0 to 19 have been deleted and you attempt to enter the preset tuning mode, “—” appears in the frequency display, and “PRESET” flashes for about three seconds. The unit then returns to the manual tuning mode.

### Changing the MW Channel Step

This radio's frequency channel step in the MW band is set at 9 kHz when it is shipped from the factory. Since the broadcasting channel step in North and South America is 10 kHz, however, the channel step should be changed when listening in countries in these regions.

Area	Channel step
North/South America	10 kHz
Other countries	9 kHz

- To **change the channel step**
- Press **POWER**.
- Press **LW/MW** to receive LW/MW broadcasting.
- Press **LW/MW** until a double-beep sounds. The tuning step indication “10 kHz” or “9 kHz” appears, and the display returns to the former frequency indication.



## Improving reception

**For FM reception**
Gently pull out the telescopic antenna and adjust the length, angle and direction to obtain optimum reception.

**For LW/MW reception**
Retract the telescopic antenna and rotate the unit to reorient the built-in ferrite bar antenna to obtain optimum reception.

**For SW reception**
Gently pull out the telescopic antenna to its full length and set it vertically to obtain optimum reception.

**Using the supplied SW compact antenna (World model only) (See Fig. B)**
In a metal or concrete building, the use of the supplied SW compact antenna is recommended.

- Pull the cord fully from the case.
- Attach the coupler to the telescopic antenna.
- If the window can be opened, extend the case outside the window after making sure that doing so will not pose any danger. If the window cannot be opened, extend the cord fully along the frame of the window.

**Using an external antenna for SW and LW/MW reception (see Fig. B)**
Use a wide-range antenna AN-1 or AN-102 (not supplied).

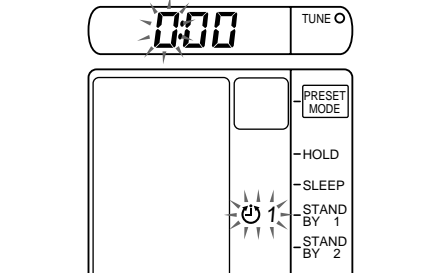
- Use the connecting cord to connect the antenna controller **OUTPUT** jack to the antenna coupler **INPUT** jack.
- For SW reception, attach the antenna coupler to the telescopic antenna. For LW/MW reception, position the antenna coupler near the unit, where LW/MW reception is optimal.

- Keep the unit and antenna away from fluorescent lights, televisions, computers, and other equipment which may generate noise.
- Retract the telescopic antenna when using an external antenna.
- Set up the external antenna as far away from the street as possible.
- For more details on the external antenna, refer to the antenna Operating Instructions.

## Setting the standby

You can turn on the radio and tune in your favorite station at the desired time with the dual standby function (Standby 1 and Standby 2). Before you set the standby, assign the station to which you wish to listen at the desired time for Standby 1 to preset number 1. Similarly, assign the station to which you wish to listen at another desired time for Standby 2 to preset number 2. Refer to “Presetting stations” for more details.

- If the radio is operating, press **DISPLAY MODE** to display the clock.
- Press **LW/MW\*STANDBY TIME 1** for Standby 1 and **FM\*STANDBY TIME 2** for Standby 2 for more than one second until you hear a beep. In this display mode, the hour and “⊙1” (or “⊙2”) start flashing.



- Turn the **TUNING/TIME ADJ** control until the desired hour is displayed.
- Press **LW/MW\*STANDBY TIME 1** (or **FM\*STANDBY TIME 2**) to set the desired minute.
- Turn the **TUNING/TIME ADJ** control until the desired minute is displayed.
- Press **LW/MW\*STANDBY TIME 1** (or **FM\*STANDBY TIME 2**) The minute stops flashing, and a few seconds later, “⊙1” (or “⊙2”) stops flashing and remains in the display while the unit returns to the clock display.

**To set/cancel standby mode or confirm the standby time**
Each time **STANDBY MODE** is pressed, the display changes in the following order.

⊙1 → ⊙2 → ⊙1⊙2 → (None)

\* The display will be flashing initially. Only while the display is flashing, the preset standby time will be displayed to allow checking of the standby time for Standby 1 or Standby 2.

- When the standby time arrives and standby is activated, the radio turns on. The unit will then turn off automatically after 60 minutes. To turn off the radio before 60 minutes have elapsed, press **POWER**.
- When you have set Standby 1 and Standby 2, and a second preset standby time arrives while the first standby function is operating, the most recent standby function will have priority over the other and tune in the appropriate station.
- When identical standby times are set for Standby 1 and Standby 2, only Standby 1 is operational.

• To cancel the standby function temporarily, slide **HOLD** to the right to display “◐” while the radio is turned off. When the hold function is canceled and “◐” disappears, the standby function is operational.

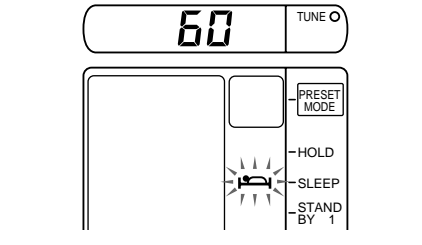
**Activating the buzzer**
To activate the buzzer instead of the radio at the desired time, delete the station assigned to either preset number 1 or preset number 2 as necessary. Refer to “Deleting a preset station” for further details.
To stop the buzzer, press any button. The buzzer will sound continuously for about 60 minutes if no button is pressed.

• The buzzer volume is not adjustable.

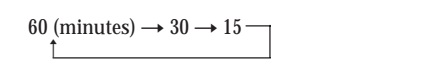
## Setting the sleep timer

You can turn off the radio automatically after a specified number of minutes (60, 30, or 15 minutes) with the sleep timer.

- Press **(Sleep)**. The radio turns on and the duration of “60” minutes and **(Flash)** flash.



- Press **(Sleep)** repeatedly to select the desired duration for the sleep timer.



After about three seconds, the unit returns to the frequency display.
The sleep timer is operational.

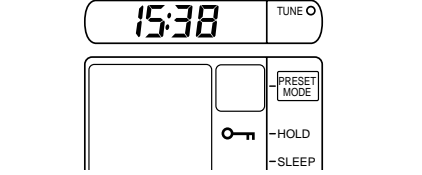
- To reset or extend the duration, press **(Sleep)** and select the desired duration as shown in step 2.
- To turn off the radio before the selected duration elapses, press **POWER**.

## Using other functions

### Hold function

When the hold function is used, neither the buttons nor the TUNING/TIME ADJ control are operational. Use the hold function to prevent accidental operation. The hold function can also be used to cancel the standby function temporarily.

- Slide **HOLD** in the direction of the arrow. “◐” appears on the display and all buttons and the TUNING/TIME ADJ control cease to be operational.



• To cancel the hold function, slide **HOLD** to the left.

**To cancel the standby function temporarily**
Slide **HOLD** to the right to display “◐” while the radio is turned off. When the hold function is canceled and “◐” disappears, the standby function is operational.

• When the hold function is used, the display is not illuminated.

### Light function

Press **LIGHT** to turn on the light for about 15 seconds to view the display in the dark.
• If any function on the unit is performed during the light on, the light continues to turn on for longer than 15 seconds.

#### XXXX